経営学総論 II

科目ナンバリング　MAN-102
選択　　2単位

飯塚　陽介

1. 授業の概要（ねらい）

本講義は大学で学ぶ経営学に関する諸知識のうち特に戦略論と組織論に関する基礎的な用語と考え方を学ぶことを目的としています。基本的には講義形式で授業は進められます。

秋学期は、企業のマネジメントを構成する諸問題のうち、企業による組織のマネジメントに関する諸問題を取り扱います。具体的には、組織行動や組織構造に関する基礎知識を広く学びます。春学期で論じたように、企業が成長・存続していく上では、外部環境に適切に反応していくことが必要となります。ただし、このような企業の対外適応行動においては、集団を構成する各個人のやる気を引き出し、その努力をうまく活用する工夫もまた必要となります。本講義では、企業経営者が組織をマネジメントしていく上で考慮すべき基本的な論理について学習します。

2. 授業の到達目標

到達目標（1）企業経営について考える上で必要な基本的な論理を習得する。
到達目標（2）経営学についての学習を継続的に実施している。

3. 成績評価の方法および基準

評価基準（1）期末テストの点数（30%）（到達目標（1）と関連します。）
評価基準（2）毎回の確認小テストの点数（70%）（到達目標（2）と関連します。）

毎回LMS上で実施する小テストと期末テストを総合的に評価します。期末テストについては講義中に配布した資料を除いて持ち込み不可とします（配布資料のコピーは不可）。

4. 教科書・参考文献

参考文献
金井寿宏　『経営組織：経営学入門シリーズ』　日本経済新聞社
沼上幹　『組織デザイン』　日経文庫

5. 準備学修の内容

本講義の内容は、企業経営に限定されず、「組織」という非常に普遍的で我々にとって身近な存在と関連しています。従って、本講義を受講する皆さんには、講義で学んだ概念や理論を用いて自分の周囲の集団や組織（家族・部活動・サークルなど）を観察することをお勧めします。講義で学んだキーワードについて、MELICの資料を活用して多彩な視点から学習し、ノートに整理することで理解は格段に深まるでしょう。

6. その他履修上の注意事項

本講義では印刷した資料を講義冒頭に配布します。欠席者には後日配布はしませんので注意してください。

7. 授業内容

【第1回】　講義「モチベーション（1）」（主にモチベーションの内容理論について論じます）。
【第2回】　講義「モチベーション（2）」（主にモチベーションの過程理論について論じます）。
【第3回】　講義「インセンティブ・システム」。
【第4回】　講義「コミットメント」。
【第5回】　講義「集団の機能」。
【第6回】　講義「コンフリクト」。
【第7回】　講義「リーダーシップ」。
【第8回】　講義「組織構造論入門」（組織形態の3つの基本型などについて学びます）。
【第9回】　講義「組織構造の基本（1）」（分業と調整について学びます）。
【第10回】　講義「組織構造の基本（2）」（ヒエラルキーとそれ以外の調整手段について学びます）。
【第11回】　講義「製品開発の組織」（応用例として製品開発に関わる組織について学びます）。
※オンラインを予定。
【第12回】　講義「組織と環境」（コンティンジェンシー理論など）
【第13回】　講義「制度と文化」（組織アイデンティティ論、企業文化論、組織文化論、新制度派組織理論について学びます）。
【第14回】　講義「残されたトピック」（組織開発、業務チームのマネジメント、ビックファイブ・モデル、コントロール、バリューチェーン・マネジメントなどについて学びます）。
【第15回】　期末テスト及び講義「期末テストの解説」。